



近年、食品工場、給食施設に於いて、場内でのカビの発生が少なくなっている。これは建物の構造、空気の流通、換気、温湿度管理、内装建材の選定、HACCPの浸透、等の向上によるものであり、会社と従事者の衛生意識が高まった結果であろう。しかし、カビは発生した場合目視ができるので、手早く清掃によって除去することができるが、根本的な解決策にはなっていない。それが空気の流れにより空気中に漂っていることを想像すると、恐ろしいことである。そのような天井・壁に付着したカビ、細菌等の細胞繁殖を阻止する塗料を塗布することによって空気中の落下菌数を減少させるシステムが防菌防カビ液体プラスチック「バイオデックスシーンS I」で、ポリマーにマイクロカプセル化した防カビ効果、細菌の繁殖を阻止する銀イオンにより、複合的効果を発揮し超長期間施設の衛生を守るのである。

「バイオデックスシーンS I」は、銀イオンにより様々な種類の細菌の繁殖を阻止するが、特筆はO-157にもその効果を発揮することである。窓枠や天井、壁に付着している菌の繁殖を防止することにより作業所内の落下菌が減少する。さらにカビ菌や藻類、菌糸の繁殖を阻止する効果がマイクロカプセル状になっているので、塗膜がある限り防菌・防カビ効果は持続する。